商品名　ラベプラゾールナトリウム錠10mg「ケミファ」 医薬品基本情報

薬効	2329 その他の消化性潰瘍用剤	一般名	ラベプラゾールナトリウム錠
英名	Rabeprazole sodium	剤型	錠
薬価	24.00	規格	10mg 1錠
メーカー	日本ケミファ	毒劇区分	

ラベプラゾールナトリウム錠10mg「ケミファ」の効能・効果

Zollinger－Ellison症候群、胃潰瘍、逆流性食道炎、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、非びらん性胃食道逆流症、(低用量アスピリン投与時における胃潰瘍、低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍)の再発抑制、(胃潰瘍、十二指腸潰瘍、特発性血小板減少性紫斑病、胃MALTリンパ腫、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃)のヘリコバクター・ピロリの除菌の補助

ラベプラゾールナトリウム錠10mg「ケミファ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、リルピビリン塩酸塩投与中

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

2. 進行期胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃以外

記載場所	効能・効果
注意レベル	注意

3. 薬物過敏症の既往、肝硬変

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

ラベプラゾールナトリウム錠10mg「ケミファ」の副作用等

1. 急性腎障害、間質性腎炎

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

2. ショック、アナフィラキシー、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、劇症肝炎、黄疸、皮膚障害、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、多形紅斑、低ナトリウム血症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、視力障害、錯乱状態、せん妄、異常行動、失見当識、幻覚、不安、焦燥、攻撃性

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

3. 肝機能障害

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

4. 間質性肺炎、発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音異常、捻髪音

記載場所	重大な副作用
頻度	0.1%未満

5. 血小板減少

記載場所	重大な副作用
頻度	0.1%未満

6. 舌炎、嘔吐、顕微鏡的大腸炎、collagenous colitis、lym phocytic colitis、せん妄、昏睡、目のちらつき、関節痛、筋肉痛、高アンモニア血症、低マグネシウム血症、女性化乳房

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

7. 過敏症、発疹、そう痒感、白血球減少、白血球増加、好酸球増多、貧血、AST上昇、ALT上昇、Al－P上昇、γ－GTP上昇、LDH上昇、血圧上昇、便秘、下痢、腹部膨満感、嘔気、口内炎、頭痛、総コレステロール上昇、中性脂肪上昇、BUN上昇、蛋白尿、血中TSH増加、蕁麻疹、軟便、味覚異常、腹痛、舌炎、胃部不快感、鼓腸放屁

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

8. 蕁麻疹、赤血球減少、好中球増多、リンパ球減少、総ビリルビン上昇、動悸、腹痛、苦味、カンジダ症、胃もたれ、口渇、食欲不振、鼓腸、めまい、ふらつき、眠気、四肢脱力、知覚鈍麻、握力低下、口のもつれ、失見当識、かすみ目、浮腫、倦怠感、発熱、脱毛症、しびれ感、CK上昇、そう痒感、好酸球増多、好中球減少、リンパ球増多、血小板減少、白血球増加、Al－P上昇、LDH上昇、血圧上昇、口内炎、胸やけ、口唇炎、痔核、食道炎、腸炎、顔面浮腫、舌のしびれ感、熱感、蛋白尿、眼圧上昇、手足のしびれ感、尿酸上昇、尿糖異常、勃起増強

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

9. 甲状腺重量増加、血中サイロキシン増加

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

10. 肝性脳症、胎仔毒性、胎仔化骨遅延、胎仔体重低下、栄養状態悪化、消化器症状、良性胃ポリープ、骨粗鬆症、股関節骨折、手関節骨折、脊椎骨折、骨折、胃腸感染、胃にカルチノイド、母動物での毒性増強、胎仔発育抑制増強

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ラベプラゾールナトリウム錠10mg「ケミファ」の相互作用

1. 薬剤名等 ： リルピビリン塩酸塩

発現事象	作用を減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下	指示	禁止

2. 薬剤名等 ： ジゴキシン

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を促進	指示	注意

3. 薬剤名等 ： メチルジゴキシン

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を促進	指示	注意

4. 薬剤名等 ： イトラコナゾール

発現事象	血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を抑制	指示	注意

5. 薬剤名等 ： ゲフィチニブ

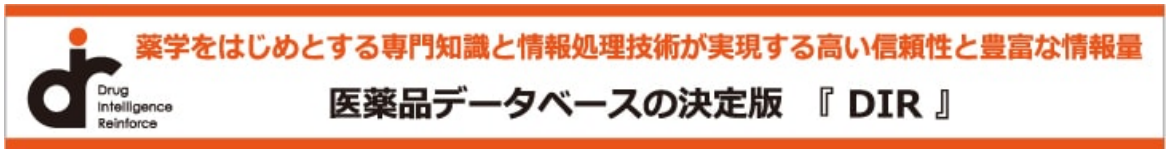
発現事象	血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を抑制	指示	注意

6. 薬剤名等 ： 水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム含有の制酸剤

発現事象	本剤の平均血漿中濃度曲線下面積がそれぞれ8%・6%低下	投与条件	同時服用、制酸剤投与1時間後服用
理由・原因	-	指示	注意

7. 薬剤名等 ： メトトレキサート

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.